



はーとふる エッセイ

富山市長 藤井裕久

No.16 「ペットは大切な家族」

11年前の冬、昨夜から30センチを超える積雪があり底冷えのする朝だった。雪かきをしようとして外に出ると、玄関の軒下に1匹の毛並みの良い白黒の猫がうすくまっていた。よく見ると口の周りが白くなんとも愛嬌のある顔だ。田河水泡先生の代表作「のらくろ」の主人公は犬であるが、そのような顔立ちである。どこかの飼い猫だろうか、小刻みに震えながら細かい声で人懐っこくまとわりついてくる。ほどなく飼い主のもとへ帰るだろうと思い、頭をポンポンと撫でてから雪かきを始めた。その様子をじっと眺めていた猫は、雪かきが終わってもまったく帰る気配はなく、その晩帰宅した時にはちゃんと我が家に上がり込んでいた。飼い主が見つかるまでの居候と思っていたが、「のら」と名付けたその猫は今や我が家の大切な一員である。

同年の夏、我が家にとって初めての室内犬であるミニチュアダックスフンドがやってきた。名前は「ラブ」、子犬の頃は、ちょっと目を離すとごみ箱をひっくり返したり、食卓の上のお惣菜を食べ散らかしたりと、かなりのやんちゃぶりであった。叱られると何ともバツの悪い顔をして、すすすすと自分のハウスへ入って行く。今はすっかり落ち着いているが、人懐っこい性格で人の顔色もよく見ている。この2匹はすぐに仲良くなり、寒い日などは何時も寄り添って寝ている。

ちなみに、最近この2匹にフレンチブルドッグが仲

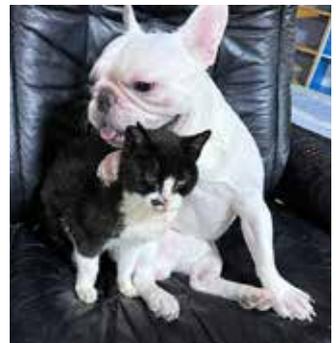
間入りした。真っ白な毛並みだが名前は何か「クロ」である。天真爛漫で活発、障子戸の枠や椅子の脚をかじっては家人を困らせている。成犬になれば落ち着くと知人から教わったので、しばらくは我慢である。この新入りともすぐに打ち解けた2匹の先輩たちであるが、度が過ぎたわんぱくぶりには少々引き気味でもある。

想えば自分が物心ついたころから、我が家は犬猫を飼っていた。自分の動物好きもこの家庭環境の影響である。他界した父が晩年認知症を発症してからは、よく「ラブ」が傍らにいて話し相手になっていた。犬は主人の気持ちをよく理解すると言われるが、なるほどその通りだと思う。

さて、飼い主にとってペットは、子どもの時に出会い自分よりも早く亡くなることが多い。ペットと多くの時間を共有し心を通わせるほど、別れは辛く悲しいものである。彼らは、命の大切さをその身をもって教えてくれている。最近では、ペットの飼育放棄が社会問題化しているが、いかなる理由があろうと決してあってはならない勝手な行為である。ペットは言うまでもなく大切な命を持つ家族の一員なのだから。



人懐っこいラブ



犬の「クロ」と引き気味の猫の「のら」▶

今月の 広報クイズ

最大20,000円分のポイントがもらえる「〇〇〇〇〇〇〇第2弾」を実施中です。

〇に入る文字は？ 答「〇〇〇〇〇〇〇第2弾」

はがきかEメールで、答と郵便番号、住所、氏名、年齢、連絡先(電話番号かメールアドレス)と「広報クイズ応募」と書いて、広報課(〒930-8510 新桜町7-38)へ(1人1通)。

広報とやまに対する意見・感想もお待ちしております。
締め切り▶9月14日(水)(必着) [E]kouhou-01@city.toyama.lg.jp
賞品▶500円分の図書カード(抽選で5人)
当選発表▶賞品の発送で代えさせていただきます。

前月の答え 横断 前月の応募総数 271件(正解数271件)



とやま情報局

今月の放送日 9月25日(日)11:45~

放送局 KNB北日本放送(1ch)

テーマ「子育て中のあなたに笑顔を！」

スマホで質問するとAIが回答するサービス「子育て支援AIチャットボット」、子育て世帯の交流・相談の場「子育て支援センター」、産後のママをサポートする「産後ケア応援室」などを紹介します。

市ホームページ(まちづくり・市政)⇒インフォメーション⇒とやま情報局